

TAMURA CORPORATION REPORT 2012

CORPORATE PROFILE / CSR REPORT DIGEST




TAMURA

TOP MESSAGE



さまざまな外的要因に翻弄される中であっても、
変わらない「オンリーワン」の精神で、
世界に貢献する企業グループを目指します。

株式会社タムラ製作所
代表取締役社長

田村 直樹

T's POWER+
2013年3月期を最終年度とする
3カ年中期経営計画を推進しています。

震災やタイの洪水被害などの逆風の中、 増収増益を達成

2011年度は、震災の影響、世界的な景気減速、タイの洪水被害など、多くの逆風を受けて苦戦しましたが、結果として増収増益を果たすことができました。しかし、営業利益については減益となり、また、数字の中身も、前述の外部環境要因による影響を色濃く反映したものとなっています。

電子部品関連事業は、震災およびタイの洪水によるサプライチェーンの寸断を受け、売上が大きく変動しました。電子化学実装関連事業においてもこれらの影響により減収減益を余儀なくされましたが、はんだ付装置では、タイ洪水被害による置き換え需要の発生を受け伸長しております。

また、国内の省エネ・節電需要を取り込んだLED照明、エネルギー市場向けを含むコイル・リアクタや、タブレットPC向けアダプタなどが増収に寄与しました。特に、LED照明では、震災後の省エネ・節電意識の高まりを受け、コンビニエンスストアの内照式看板や自動販売機向けなどが大きく伸長いたしました。

「No.1戦略」と「オンリーワン戦略」による 価値創造の追求

また2011年度は、3カ年中期経営計画「T's POWER+」の2期目でもありました。自然災害に翻弄される中であっても、グローバルな展開で業界トップシェアを目指す「No.1戦略」と、独自性・強みの発揮でターゲット分野でのトップを目指す「オンリーワン戦略」の2つによる価値創造に、引き続き積極的に取り組んでまいりました。

「No.1戦略」では、超大型トランスや車載用部品において実績を上げ、導電性接合材は、太陽電池市場の低迷を受けたものの一定の参入を果たすことができ、拡大が見込まれる市場での今後の展開に期待をつなげました。

「オンリーワン戦略」については、LEDにおいて、震災の影響による省エネ・節電意識の高まりにより、コンビニエンスストアや自動販売機メーカーなどへの売上を拡大するとともに、開発段

階からアプローチできる新たなチャネルの獲得にもつながりました。環境対応製品のソルダーレジストはフレキシブル基板用を中心に順調に成長しています。

市場戦略上のテーマである「エネルギー・産業機械市場比率の拡大」も、売上高に占める割合が50%を超え、定性的な目標については概ね達成しつつあります。ただし、最終年度の数値目標「売上高1,000億円」「営業利益70億円」については残念ながら未達となる状況です。

「プレミアム環境貢献製品」の開発・提供、 売上比率向上を目指す

3カ年中期経営計画「T's POWER+」は、長期ビジョン「2015タムラグループビジョン」を基としています。2015年度に「オンリーワン価値創造企業」「地球と共生する良き環境企業」「全員が主役のグローバル企業」の実現を目標に掲げ、新たな成長分野として「再生可能資源が主役となるエネルギー革命」に照準を合わせており、前述の製品群を含め、環境貢献技術・製品の開発に注力しております。初年度にあたる2010年10月からは、環境貢献製品の中でも特に優れたものを「プレミアム環境貢献製品」に認定し、売上比率向上を目指しております。通年での取り組みとなった2011年度は、売上比率13%を目標に取り組みしました。結果は、12%とわずかに目標に届きませんでした。今後とも変わることなく取り組みを進め、「プレミアム環境貢献製品」のさらなる開発・提供を通じてライフサイクルでの環境負荷の低減に貢献してまいります。

企業と社会の持続的発展を目指して

自然災害に翻弄された年ではありましたが、同時に、そこで得た経験・教訓から、サプライチェーンに潜むリスクや顕在化した課題を再認識し、BCP(事業継続計画)の見直し、強化にも取り組みました。2011年度は、国内事業所および関連会社で新しいBCPを整備しました。定期的および必要に応じて見直しを行ってまいります。2012年度には、海外関係会社での策定を完了するとともに、今後も刻々と変化する当社グループを取りまく状況を

考慮しつつ、サプライチェーンにおけるBCPの継続的改善を行ってまいります。

グローバル企業タムラグループにとってのサプライチェーンマネジメントは、業務プロセスや物流管理のみならず、環境保全、人権、労働、安全衛生、公正取引、企業倫理、品質と安全、消費者保護、地域貢献といったCSR(企業の社会的責任)側面でのグローバル展開も当然含まれてまいります。これらについても具体的に取り組んでいく所存です。

震災の与えた影響は日本に留まらず、環境・エネルギーなど様々な問題を世界に投げかけ、今、世界的規模で価値観が大きく変わろうとしています。タムラグループは、どのような状況にあってもグループ一丸となって、「オンリーワン」で世界に貢献するグローバル企業グループを目指してまいります。

最後になりますが、タムラグループは、国連グローバル・コンパクトの人権、労働、環境および腐敗防止の4分野に関する10原則を、引き続き支持することを確認いたしました。これら10原則は、タムラグループにおいても規範とすべきものであることから「タムラグループ行動規範」の中に具体的取り組みを示しております。日々の企業活動においてグループ内の全員がタムラグループ行動規範を遵守することで、国連グローバル・コンパクトの原則の向上を推進してまいりることをステークホルダー(利害関係者)の皆様方に宣言いたします。

2012年7月

MISSION STATEMENT

MISSION

私たちは、タムラグループの成長を支える
全ての人々の幸せを育むため、
世界のエレクトロニクス市場に高く評価される
独自の製品・サービスをスピーディに提供していきます。

VISION

1. タムラグループは、世界的視野にたち、エレクトロニクス産業が求める事業を経営基盤とします。
2. タムラグループは、市場本位をつらぬき、世界のお客様が求める技術を事業基盤とします。
3. タムラグループは、公正な視点で社員を評価し、努力によって成果をもたらす人を最も賞賛します。
4. タムラグループは、国際社会の一員として行動し、各国の法規制を遵守し文化・慣習を尊重します。
5. タムラグループは、地球環境の保全に努め、資源の有効化と再資源化を推進します。

GUIDELINE

1. 私たちは、パートナーシップを大切にします。
2. 私たちは、革新する勇気を大切にします。
3. 私たちは、多彩な個性を大切にします。
4. 私たちは、社会的な責任を大切にします。

TAMURA CORPORATION REPORT 2012

CORPORATE PROFILE / CSR REPORT DIGEST

CONTENTS

トップメッセージ	01
MISSION STATEMENT	02
目次/編集方針	02
[CORPORATE PROFILE]	03
タムラグループビジョン	03
事業の系譜とコア技術	05
製品一覧	07
環境エネルギーを支える	09
産業を支える	11
グループネットワーク	13
[CSR REPORT DIGEST]	14
CSR活動実績	
2011年度の主な取り組み結果と2012年度の計画	15
社会性報告	
東日本大震災を乗り越えて(続報)	17
2011年度CSR活動トピックス	18
環境報告	
2011年度環境活動トピックス	19
CORPORATE DATA	21

編集方針 本冊子は、グループ概要や事業を紹介した[CORPORATE PROFILE]と、CSR活動をダイジェストで紹介した



た[CSR REPORT DIGEST]を1冊にまとめて、タムラグループをご紹介します『TAMURA CORPORATION REPORT 2012』として発行するものです。

尚、CSR活動の詳細な報告は、タムラ製作所ホームページ「CSR活動」のページに掲載しております。「CSR活動」の編集にあたっては、GRI『サステナビリティ・レポート・ガイドライン3.1』、環境省『環境報告ガイドライン(2012年版)』、ISOガイダンス規格『ISO26000』を参照しました。

報告対象期間 2011年4月1日～2012年3月31日
(一部、2012年4月以降の活動も含みます)

発行 2012年7月
(前回:2011年7月 次回:2013年7月)

お問い合わせ先 経営管理本部経営企画統括部
広報・IRグループ TEL:03-3978-2012 FAX:03-3923-0230
E-mail:webinfo@tamura-ss.co.jp
ホームページ http://www.tamura-ss.co.jp/

TAMURA GROUP VISION

タムラグループビジョン

私たちタムラグループは、創業の礎である「トランス」から発展した電子部品・電子化学実装・情報機器の事業領域において、社会の期待に応える4つのターゲット分野に注力し、

- オンリーワン価値創造企業
- 地球と共生するよき環境企業
- 全員が主役のグローバル企業

の実現を目指します。

EPISODE 1

～世界的な再生可能エネルギー拡大の波に乗る～

大型トランス／リアクタ 2011-2012

製品紹介

2009年のヨーロッパから始まり、2012年現在ではインド、アメリカ(メキシコ)、ブラジル、中国を含む計8拠点まで世界展開いたしました。また発信元のヨーロッパにおいても水冷タイプの大型製品が量産化されるなど市場展開また技術力において他社では困難なタムラの大型トランスおよびリアクタ市場対応力を確立するに至りました。

担当者の声

2012年5月、ブラジルに8番目の生産拠点が誕生しました。この拠点では主に配電設備用の大型製品を生産しております。ブラジル内での目覚ましいインフラ市場伸張に対応すべく、タムラの大型製品は南米においても展開されております。

タムラヨーロッパリミテッド 大久保 英彦



EPISODE 3

～大光量LEDや超高耐圧パワーデバイスが可能に～

酸化ガリウム基板

製品紹介

酸化ガリウム結晶は、当社が世の中に先駆けて実用化を進めている材料であり、可視光から紫外光領域まで透明で、電気を流すことができる新しい半導体結晶です。この結晶を用いることで、今までにない大光量の光を出すLEDや超高耐圧のパワーデバイスの実現が可能になります。期待される分野を右のツリー図で示しています。写真は2インチ基板です。

担当者の声

酸化ガリウム基板を用いることにより大電流が流せるLEDを実現するというコンセプトで開発をスタートしました。LED 1チップから従来の10倍程度の光を取り出すことで、お客様にはより少ないLEDの数で必要な明るさが実現できることになり、パワーデバイスにおいても損失の小さいデバイスが提供できることとなります。いずれも小型化・省エネルギー化に貢献できる環境にやさしい製品です。酸化ガリウム関連技術は世界に貢献する当社のオンリーワン技術として育てています。コアテクノロジー本部 山腰 茂伸

EPISODE 2

～LED・太陽電池など、注目市場で大活躍!～

白色反射材 RPWシリーズ

製品紹介

液晶TV、携帯電話および照明分野で急速に需要が拡大しているLED。

白色反射材[RPWシリーズ]は、LEDの輝度の向上、長期安定性への要求に応えるため、光の照射・熱による劣化に強い高反射率、優れた耐変色性を実現し、LEDの省エネルギー化に貢献しています。

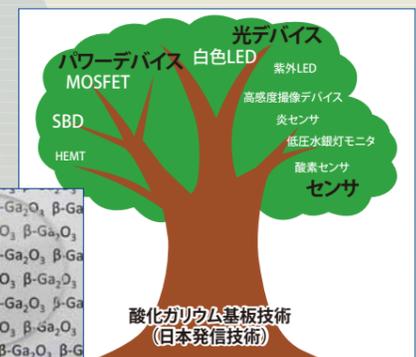
また、LEDだけでなく、太陽電池にも使用可能である製品も取りそろえ、拡大する省エネルギー市場のニーズに応えます。

担当者の声

RPWシリーズの開発で特に苦労した点は、塗膜形成には光硬化または熱硬化させる必要がある反面、硬化塗膜には高い反射率と優れた耐変色性が求められ、その特性をいかに両立させるかが最大の課題点でした。従来技術にとらわれず各特性の機構を解明し、それに合わせた材料設計にすることで課題点を解決することができました。

この特長により、RPWシリーズはLED、太陽電池分野での高性能化に寄与しております。

電子化学事業本部 長谷川 靖幸



GENEALOGY OF PRODUCT DEVELOPMENT

事業の系譜とコア技術 ~歴史で培われた技術力が今も光る~

HISTORY

1924
ラジオ、蓄音機の
製作・販売



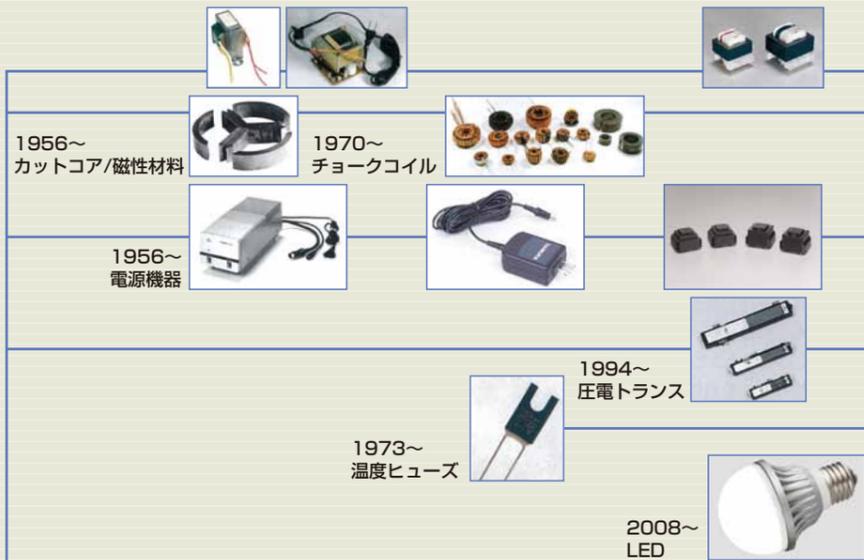
1930~
トランスの自作化
ビルトライト

日本でラジオ放送が始まる1年前の大正13(1924)年、当社の前身となる「田村ラジオ商会」が創業しました。ラジオ修理からオリジナルのラジオ作りを手掛ける中で、「良い音」への追求から、その鍵となるトランスの製作を手掛けるようになり、「トランスのタムラ」としての礎を築きました。

その後、トランスを軸とした各種電子部品、良いトランスを作る良い接合材料への追求からフラックスやはんだ材料、はんだを接合するためのはんだ付装置、さらには放送用・通信用トランスの実績から放送用音声機器・通信機器にとその業容を広げてまいりました。

現在では、電子部品、電子化学実装、情報機器の3つの事業分野で、環境やエネルギーなど新たな市場のニーズに応える製品の開発、供給に努めています。

各種
トランス



PRODUCTS

電子部品

各種トランス・インダクタ・リアクタ
チョークコイル
電流センサ

ACアダプタ・バッテリーチャージャ
パワーモジュール
産業機器用電源装置

圧電セラミックス製品

温度ヒューズ、抵抗器

LED関連製品

電子化学実装

ソルダーペースト・ポストフラックス
導電性接合材

ソルダーレジスト
(リジット基板向け・フレキシブル基板向け)
OSP(プリフラックス)
白色反射材、黒色吸収材

リフローはんだ付装置
ウェーブはんだ付装置
スプレーフラックス他周辺機器

情報機器

放送用音声調整卓
放送用音声編集機器他

ワイヤレスインターカム
ワイヤレスマイクロホン

通信ネットワーク機器
セキュリティ関連機器
各種OEM製品

CORE TECHNOLOGY

パワーソリューション

- ダストコア素材開発と量産化技術
- 温度保護素子開発と量産化技術
- 電磁界、熱、構造解析(シミュレーション)技術
- 高効率低ノイズ電源技術
- 大型巻線生産技術
- コイル加工絶縁封止の生産技術
- 環境対応技術
- 高信頼規格(JAXA・MIL規格等)適応技術

圧電セラミックス

- 材料開発・プロセス技術
- 素子設計技術・解析技術
- 圧電素子の制御技術

LED・半導体デバイス

- LEDパッケージング技術
- 熱設計・解析技術
- 光学設計・解析技術
- 高効率反射処理技術
- 単結晶基板育成技術
- 高品質エピ成膜技術
- 高効率・高出力LED製造
- 照明設計技術

電子実装プロセス/プリント配線板材料/半導体実装材料

- 材料と設備一体の製品開発とコラボレーション
- 樹脂設計・合成技術(感光性樹脂・熱硬化性樹脂・熱可塑性樹脂)
- 金属粉末作製技術
- はんだ接合技術
- 光硬化技術
- 熱硬化技術
- 環境対応技術(Pbフリー化対応、ハロゲンフリー化対応)
- リフロー加熱技術
- ソルダリング技術
- ウェーブはんだ付技術
- 熱制御技術
- (窒素)雰囲気制御技術

情報機器

- 音声処理技術
- デジタル信号処理技術
- 光変復調技術
- 音響技術
- 高周波技術
- 無線技術
- 高密度実装技術
- サラウンド音響技術

PRODUCT REVIEW

製品一覧 ~素材からシステムまでエレクトロニクス産業を支える~

電子部品

トランス・LED・圧電セラミックス・充電器など素材・部品・完成製品の開発・生産・販売を行い、一般家電から産業機器・医療機器さらには宇宙機器まで幅広い市場に製品を供給しています。



電子化学実装

プリント配線板の形成材料や部品のはんだ付材料、プリント配線板のはんだ付けを行う装置の開発・生産・販売を行い、さまざまなエレクトロニクス産業の成長に貢献しています。



情報機器

放送用音声機器・無線連絡装置は、デジタル放送化に貢献しています。また、通信設備システムがユビキタス社会を支える一方で、鉄道向け駅用無線連絡装置・セキュリティ機器が安心・安全・快適な暮らしに貢献しています。



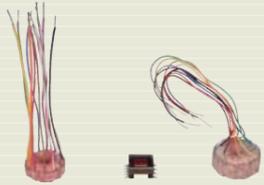
環境エネルギーを支える

省エネ・創エネに貢献

未来を創るさまざまなフィールドでタムラのテクノロジーは活躍しています

■ 電子部品 ■ 電子化学実装 ■ 情報機器

宇宙用コイル・トランス



電力系トランス・リアクタにおいて、国内唯一のJAXA(宇宙航空研究開発機構)規格の認定取得メーカーとして、人工衛星および打ち上げ用ロケット搭載用製品の開発・生産、供給をしています。

充電電コントローラ



日中の発電量に応じ夜間の電力消費量を最適なバランスに制御します。タムラの電源技術の結集で、昼夜を問わず太陽エネルギーを高効率に活用しています。

車載用リアクタ



ハイブリッド車・電気自動車などの電圧を最適に制御するための基幹部品であるリアクタ。高信頼性・安全性でエコドライブを支えます。

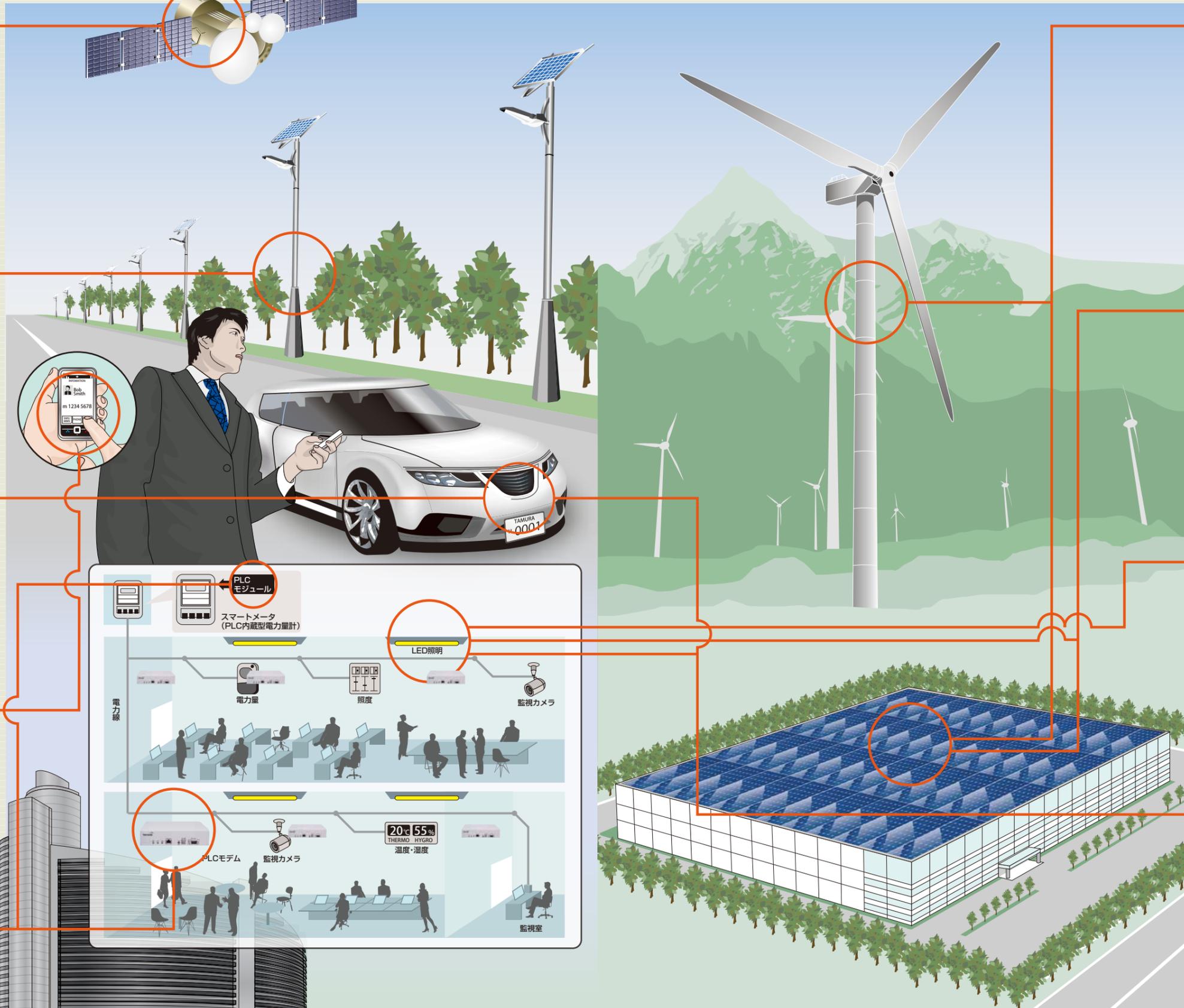
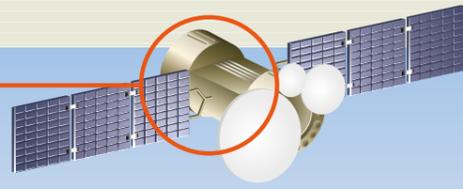
黒色吸収材



光を吸収してより輪郭を鮮明にする黒色吸収材。機能だけでなく、外観のクールさから、携帯機器などにも使われています。

PLCモジュール/モデム

ビルやオフィスの電力線を利用した通信技術(PLC)でエネルギー・温度などを監視するシステムにおいて、タムラのPLCモジュールが活躍しています。



大型トランス



タムラの大型トランスの中でも最新技術である水冷式トランスは、高出力・省スペース化を実現し、風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギー市場、船舶電源、また各種大型モーター制御においてもその信頼性を発揮します。

白色反射材



LED照明用の反射材として生まれた白色反射材。加えて現在では太陽光発電パネルで、太陽光の反射率を高め、発電効率向上を助ける目的としても注目されています。

LED照明



省エネ・長寿命・環境にやさしいという利点から注目が高まるLED照明。身近なあたりから、暮らしのエコに貢献しています。

温度ヒューズ付き抵抗器



電気自動車を始めとする様々な環境貢献製品に採用され、機器の異常を感知し、トラブルから製品を守っています。

産業を支える

高信頼、高機能、高効率に貢献

見えないところでもしっかりとタムラのテクノロジーは私たちの暮らしを支えています

■ 電子部品 ■ 電子化学実装 ■ 情報機器

■ ソルダーレジスト



プリント基板を酸化から守り、絶縁性を保つという大切な役割を果たしています。プリント基板の顔であることから、外観・中身(信頼性)ともこだわります。

■ ソルダーペースト



はんだ合金を粉末化し、フラックスをまぜることでクリーム状にしたはんだ。いち早く鉛フリー化に取り組み、お客様のニーズに応えます。

■ フラックス



タムラの材料開発の礎となったフラックス。はんだ付けされる金属面の酸化膜を化学的に除去し、はんだ付けできる金属のぬれ性・広がり性を確保する材料です。

■ 導電性接合材



金属的接合と樹脂の硬化による接合を同時に行う新しい接合材料です。鉛フリー、VOCフリーで環境に配慮しています。また、低温接合によるCO₂削減が期待できます。

■ 電流センサ



直流から交流への電力変換制御およびバッテリー電流管理、また各種モータの高精度な制御に幅広く使用されています。

■ UPS

■ 可視光通信

LED照明の光源を、高速で点滅させることにより、音声・映像等のデータを通信します。電波による機械の誤作動が懸念される病院・機械室での活用など、新しい通信として期待されています。

■ 圧電トランス



圧電セラミックスの共振現象を利用し、低電圧入力かつ高効率で高電圧を発生させます。

■ リアクタ



多様な電子機器で、電流・電圧を最適に制御するはたらきをもつリアクタ。省エネ意識の高まりから、改めて注目されています。

■ はんだ付装置



リフローはんだ付装置



ウェーブはんだ付装置

プリント配線板の実装に欠かせないはんだ付装置。鉛フリーはんだ付装置のパイオニアとして、これからも省エネ・環境配慮に努めます。

GROUP NETWORK



事業所および国内・海外関係会社 2012年7月1日現在

- 01 本社
- 電子部品関連事業セグメント
- 事業所
- 02 坂戸事業所
- 06 大阪営業所
- 07 名古屋営業所
- 国内関係会社
- 01 株式会社光波<LED関連>
- 04 株式会社タムラサーマルデバイス
- 09 株式会社社会津タムラ製作所
- 10 若柳電子工業株式会社
- 11 株式会社光波 浜松工場<LED関連>
- 海外関係会社
- 01 株式会社韓国タムラ
- 02 田村(中国)企業管理有限公司
- 02 田村精工電子(常熟)有限公司
- 04 合肥博微田村電気有限公司
- 05 田村電子(深圳)有限公司
- 05 田村電子(惠州)有限公司
- 05 安全電具(惠州)有限公司
- 06 田村香港有限公司
- 07 田村科技股份有限公司
- 08 タムラタイランド株式会社
- 09 タムラ電子(マレーシア)株式会社
- 10 タムラシンガポール株式会社
- 11 OP-SEED CO.,(BD)LTD.
- 12 ロマーシュ エルコンボニクス テクノロジーズ
- 13 タムラ ヨーロッパ リミテッド
- 13 ロマーシュ リミテッド
- 14 タムラ ヨーロッパ リミテッド チェコ支店
- 15 タムラ コーポレーション オブ アメリカ
- 16 タムラ電子(メキシコ)株式会社
- 17 テレパート・タムラ
- 17 インドサル エスシー
- 17 インドサル エムジー
- 電子化学実装関連事業セグメント
- <電子化学>
- 事業所
- 03 入間事業所
- 05 児玉工場
- 06 大阪営業所
- 07 名古屋営業所
- 海外関係会社
- 01 タムラ化学韓国株式会社
- 02 上海祥楽田村電化工業有限公司
- 03 田村電子材料(天津)有限公司
- 05 田村化研(東莞)有限公司
- 06 田村香港有限公司
- 07 田村化研科技股份有限公司
- 08 タムラタイランド株式会社
- 09 タムラ化研(マレーシア)株式会社
- 10 タムラシンガポール株式会社
- 13 タムラ化研(英国)株式会社
- 15 タムラ化研(アメリカ)株式会社
- 事業所
- 04 狭山事業所
- 06 大阪営業所
- 07 名古屋営業所
- 08 福岡出張所
- 海外関係会社
- 01 株式会社韓国タムラ FA営業部
- 02 田村自動化システム(蘇州)有限公司
- 08 タムラタイランド株式会社
- 10 タムラシンガポール株式会社
- 14 タムラ ヨーロッパ リミテッド チェコ支店
- 情報機器関連事業セグメント
- 事業所
- 01 東京事業所
- 06 西日本営業所
- 国内関係会社
- 09 株式会社社会津タムラ製作所
- 海外関係会社
- 01 株式会社韓国タムラ

CSR REPORT DIGEST

私たちは、タムラグループの企業理念であるミッションステートメント(P.2)を事業活動の中で実現することが、タムラグループのCSR(企業の社会的責任)だと考えます。そのためには、私たち一人ひとりがCSRを理解し行動していくことが大切と考え、推進活動を積極的に行っております。

■ コーポレートスローガン

“YOUR ONE AND ONLY COMPANY”

オンリーワン・カンパニーの実現を目指します

■ タムラグループミッション

タムラグループの存立理由で最上位の概念

経営の基本方針、および社会に表明する到達目標

行動基準。役員および従業員が日々、どのように思考し、行動するか的心構え



タムラグループ行動規範【17項目】

1. お客様の信頼と満足の獲得
2. 株主など経営を支援していただく皆様からの信頼の獲得
3. 基本的人権の尊重
4. 安全で健康的な職場環境
5. 自由な競争及び公正な取引
6. インサイダー取引の禁止
7. 不適切な接待及び贈答の禁止
8. 公的機関との不適切な取引及び不適切な政治献金の禁止
9. 安全保障輸出入管理関連法令の遵守
10. 知的財産権及びノウハウの創出、保護と活用
11. 反社会的行為への関与の禁止
12. 競争及び利益相反行為の禁止
13. 適切でタイムリーな情報開示
14. 情報(企業情報・個人情報などの適切な保護及び管理)
15. 会社資産の保護
16. 地球環境の尊重
17. 国際社会との協調及び地域との共生

創業の精神である「優れた技術と製品を通して社会に貢献する」意志・姿勢を「オンリーワン」と表現し、グループのスローガンとして掲げています。また2007年1月、ミッションステートメントのガイドラインを具体的な行動に落とし込んだ17項目の「タムラグループ行動規範」を制定しております。

■ タムラグループの主要なステークホルダー

株主・投資家の皆様の利益・期待に応えられる事業経営に努めるとともに、タムラグループの企業活動を正しくご理解いただけるよう適時適切な情報開示に努めます。

事業活動がもたらす社会・環境影響を考えると、取引先の皆様との協力体制は、必要不可欠です。公正・公平な取引を行うとともに、CSR調達やグリーン調達を推進し、サプライチェーンマネジメントによる社会・環境影響への配慮に努めます。



お客様の要望を積極的に把握し、品質・安全性などにおいて、常にお客様の信頼、満足が得られる製品・サービスの提供に努めます。また福祉や環境保全など、社会に高く評価される製品・サービスを提供し、お客様の発展とともに、持続可能な社会の構築に貢献します。

従業員一人ひとりの成長がタムラグループの成長を支えています。従業員が、「パートナーシップ」「人間的な成長」「革新する勇氣」「多彩な個性」を大切に、能力を最大限に発揮でき、自己実現を図れるような職場環境の整備に努めます。

地域の皆様から親しまれ、信頼されるよう、各国・各地域の歴史、文化や慣習を尊重した行動を取るとともに、地域社会に密着した社会貢献活動に努めます。また、コミュニケーションを大切に、地域の発展に貢献します。

2011年度の主な取り組み結果と2012年度の計画

タムラグループでは、以下のようなCSR活動を推進しています。

自己評価の判断基準 達成率100%以上 達成率80~100% 達成率80%未満

取り組み分野	取り組み目標	2011年度の主な取り組み計画	2011年度の主な取り組み結果	自己評価	報告ページ	関連するステークホルダー	2012年度の主な取り組み計画
2011年夏期電力需給対策	●夏期電力需給対策	●2011年夏期の東京電力管内での電気使用制限令対応(対象:本社・東京事業所、坂戸事業所、入間事業所、狭山事業所、児玉工場) ●省エネ・節電	●輪番休日の導入、空調温度管理の徹底等により、右記のとおり削減し電気使用制限令を遵守 ピーク電力:36%削減 電力総量:19%削減 (いずれも2010年7~9月との対比)		冊子:p17 WEBページ	株主・投資家様 地域社会 従業員	—
(全般)	●CSR教育の充実	●「CSR情報サイト」の開設	●「CSR情報サイト」の社内ネットワーク上への開設		冊子:p18 WEBページ	従業員	●「CSR情報サイト」を活用した教育
コンプライアンス・企業倫理	●経営理念・タムラグループ行動規範の浸透 ●法令、ルール等の遵守の推進 ●コンプライアンス教育の充実	●経営理念・タムラグループ行動規範の浸透教育推進 ●コンプライアンス教育の推進	●タムラグループ行動規範の光波本社および浜松工場への説明会 ●コンプライアンス映像教材による教育 ●社外講師による役員および管理職向けコンプライアンス研修の実施		冊子:p18 WEBページ	従業員	●経営理念・タムラグループ行動規範の浸透教育推進 ●コンプライアンス教育の推進
危機管理	●危機管理の強化	●大規模地震対策マニュアルの作成 ●国内および海外事業所におけるBCP作成 ●安否確認サービス(システム)の拡充 ●各事業所における備蓄品整備 ●防災訓練の実施	●国内外の全事業所を対象とした「タムラグループ大規模地震対策マニュアル」の発行 ●国内各事業所におけるBCPの整備(海外は2012年度に継続) ●安否確認サービスを国内(前年未導入事業所)および海外出向者に拡大 ●国内各事業所における備蓄品整備 ●事業所毎の防災訓練		冊子:p17 WEBページ	従業員	●大規模地震以外の緊急事態へも対応範囲を広げたタムラグループにおける緊急事態対策マニュアルの作成 ●各事業所における備蓄品整備 ●防災訓練の実施
情報管理	●情報保護の体制の強化 ●適時適切な企業情報開示の推進	●情報保護体制の強化 ●ホームページによる適時適切な企業情報開示	●関係会社への外部記憶装置の使用制限管理の適用 ●ホームページによる適時適切な企業情報開示		WEBページ	株主・投資家様 従業員	●ホームページによる適時適切な企業情報開示
人権・労働	●従業員向け社内研修の充実 ●公正・公平な評価制度の確立 ●社内コミュニケーションの活性化	●従業員向け社内研修の充実 ●メンタルヘルス対応強化 ●安全衛生社内巡視	●国際マネジメント研修制度の導入 ●メンタルヘルスクア研修の開催(入間事業所、狭山事業所) ●ストレスカウンセリングの定期的実施 ●安全衛生社内巡視の実施(各事業所他) ●危険物事故の防止活動に対する表彰(入間事業所、児玉工場) ●紛争鉱物(コンフリクトミネラルズ)対応準備		WEBページ	従業員 国際社会	●国際マネジメント研修制度の継続実施 ●メンタルヘルス対応強化 ●安全衛生社内巡視 ●紛争鉱物(コンフリクトミネラルズ)対応
環境・品質	【品質】 ●顧客満足のさらなる向上 ●グリーン調達推進	●トップマネジメントによる品質巡視 ●品質月間における品質向上啓蒙活動 ●タムラグループ品質推進大会の開催 ●グリーン調達基準の更新 ●製品含有化学物質管理の強化	●トップマネジメントによる品質巡視 ●品質月間初日に品質担当役員からメッセージ伝達 ●第5回タムラグループ品質推進大会の開催 ●グリーン調達基準の更新 (各種環境法規制の改訂に対応) ●製品含有化学物質法規制の制定、改廃情報の共有化推進		WEBページ	お客様 取引先様 従業員	●トップマネジメントによる品質巡視 ●品質月間における品質向上啓蒙活動 ●タムラグループ品質推進大会の開催 ●グリーン調達基準の更新 ●製品含有化学物質管理の強化
	【環境】 ●ISO14001統合認証取得の推進 ●省エネルギー、省資源の推進 ●環境負荷物質の抑制、削減 ●環境貢献製品の提供	●田村精工電子(常熟)、安全電具(惠州)、タムラ化学韓国のISO14001統合認証取得 ●環境貢献製品の売上比率の拡大(プレミアム環境貢献製品:13% (一般環境貢献製品:45%)) ●環境負荷物質削減:2005年度比原単位43%削減 ●CO ₂ 排出量の削減:前年度比原単位6%削減 ●環境法規制遵守	●田村精工電子(常熟)、安全電具(惠州)、タムラ化学韓国のISO14001統合認証取得完了 ●環境貢献製品の売上比率の拡大(プレミアム環境貢献製品:12%【計画未達成】 (一般環境貢献製品:47%【計画達成】)) ●環境負荷物質削減:52%削減【計画達成】 ●CO ₂ 排出量の削減:原単位0.4%増加【計画未達成、但し総量は約9%削減】 ●環境法令違反なし		冊子:p19-20 WEBページ	お客様 地域社会 国際社会 従業員	●光波本社および浜松工場のISO14001統合認証取得 ●環境貢献製品の売上比率の拡大(プレミアム環境貢献製品:24%) ●環境負荷物質削減:2005年度比原単位63%削減 ●CO ₂ 排出量の削減:前年度比原単位6%削減 ●環境法規制遵守
社会貢献	●継続性のある社会貢献活動の実施 ●地域共生、ボランティア活動の実施 ●文化、芸術、スポーツ振興の実施	●各種寄附活動 ●ものづくり教室開催 ●スポーツ振興 ●インターンシップ・職場体験学習受入 ●地域共生、ボランティア活動 ●エコキャップ活動 ●使用済み切手収集活動	●東日本大震災被災地支援(義援金、寄付) ●光波より東北地方被災地3県へLED電球を寄贈 ●各種寄附活動 ●ものづくり教室開催 ●なでしこリーグサッカーチーム(ASエルフェン狭山FC)への協賛 ●インターンシップ・職場体験学習受入 ●環境美化活動 ●若柳電子工業:伊豆沼・内沼クリーンキャンペーンに参加 ●会津タムラ製作所:会津地域ものづくり企業展示交流会に参加 ●エコキャップ活動 ●使用済み切手収集活動		冊子:p17-18 WEBページ	地域社会 従業員 国際社会	●各種寄附活動 ●ものづくり教室開催 ●スポーツ振興 ●インターンシップ・職場体験学習受入 ●地域共生、ボランティア活動の実施 ●エコキャップ活動の推進 ●使用済み切手収集活動の推進
上記以外	●国連グローバル・コンパクトの浸透	●「CSR情報サイト」を活用した浸透	●「CSR情報サイト」の社内ネットワーク上への開設		冊子:p18 WEBページ	国際社会	●「CSR情報サイト」を活用した浸透
	●ISO26000対応	●「タムラグループ行動規範」との照合推進	●「タムラグループ行動規範」との照合【照合遅延のため計画未達成】		WEBページ	国際社会	●「タムラグループ行動規範」との照合推進
	●サプライチェーンにおけるCSR推進	●取引先様へのCSR調達の推進	●グリーン調達の推進		WEBページ	取引先様 国際社会	●紛争鉱物(コンフリクトミネラルズ)不使用の周知 ●グリーン調達の推進

注) 2011年度の活動内容は、一部を除いて、次のWEBページでご覧下さい。 URL <http://www.tamura-ss.co.jp/jp/csr/index.html>



社会性報告

東日本大震災を乗り越えて(続報)

2011年夏期電力需給対策

東日本大震災による電力不足に対応するために、国内の各事業所において種々の節電・省エネルギー対策を加速させました。東京電力管内においては電気使用制限令の発動を受け、大口需要家である坂戸、入間、児玉の3事業所だけでなく、電気使用制限令が適用されない小口需要家の本社、狭山の2事業所を含めた全体で「輪番休日」を採用し、月から金曜のピーク電力の削減に対応しました。この輪番休日は、土、日曜を稼働日とし、月から金曜に交代で休業するものです。その結果、タムラ製作所5事業所全体としてのピーク電力は、2010年夏に対し、36%の削減を達成できました。使用電力の総量についても、2010年夏に対して19%削減でき、企業としての社会的責任を果たしました。

大規模地震対策マニュアル

東日本大震災発生時やその後の対応で浮き彫りになった、さまざまな課題を総括するとともに、BCP(事業継続計画)を考慮し、国内外全てのタムラグループを適用範囲とした「タムラグループ大規模地震対策マニュアル」を発行しました。2012年度には大規模地震以外のリスクへ拡充します。

安否確認サービス

災害発生時に、対象者への安否確認メールの一斉送信および応答結果の迅速な集計が行える安否確認サービスを、国内は全ての事業所、営業所および関係会社へ、海外は出向者への導入が完了しました。

備蓄

事業拠点毎に、帰宅困難者対策として、3日間の宿泊が可能となる保存飲料水、食料品、医薬品等を順次備蓄しています。

BCP(事業継続計画)

タムラグループでは、災害や事故が発生しても、お客様への製品供給を継続することが重要な使命であると認識しております。東日本大震災により顕在化したさまざまな課題を総括し、被害を最小化する事前対策や、事業の迅速な復旧のための手順・体制などを盛り込んだBCPを、国内の事業所および関連会社で整備しました。定期的および必要に応じ見直しています。2012年度には、海外関係会社での策定を完了するとともに、当社グループを取りまく状況の変化を考慮しつつ、サプライチェーンにおけるBCPを継続的に改善していきます。

若柳電子工業:節電達成証

宮城県栗原市に所在する若柳電子工業は、震度6強の被災地であったことから節電対象外地区でしたが、2011年夏期、経済産業省資源エネルギー庁の小口需要家を対象とした節電サポート事業へ参画し、7~9月の電力使用量に関し、2010年の20%の削減を目指しました。新規導入したエアコン設備の運用効果をはじめとした種々の取り組みにより、30%の削減を達成することができ、経済産業省より「節電達成証」をいただきました。



光波:LED電球寄贈

東日本大震災により甚大な被害を受けた東北地方に対する復興支援の一環として、関係会社である光波より、2011年8月、省電力=省エネに寄与するLED電球「シャイニングボール」を福島県・宮城県・青森県の三県に各1,000個寄贈いたしました。県庁をはじめ、学校、病院、水族館、図書館などの県内施設で使用され、省エネに貢献しております。



福島県



宮城県



青森県

CSR担当役員メッセージ

CSR担当役員
久保 肇
(※報告対象期間在任)

社会的責任(SR)に関する規格として、2010年11月に発行されたISO26000(社会的責任に関する手引)が、2012年3月に日本工業規格JIS Z 26000として制定されました。

7つの原則(説明責任、透明性、倫理的な行動、ステークホルダーの利害の尊重、法の支配の尊重、国際行動規範の尊重、人権の尊重)、7つの中核主題(組織統治、人権、労働慣行、環境、公正な事業慣行、消費者課題、コミュニティへの参画およびコミュニティの発展)および、中核主題下の課題等、そのひとつひとつが企業にとって重要なテーマとなっています。

当社グループとしても、ISO(JIS)規格を社会的責任に対する考え方や活動を見直すためのフレームワークとして活用し、CSR活動を推進してまいります。



社会性報告

2011年度CSR活動トピックス

CSR情報サイト開設

倫理や法令の遵守、ステークホルダー(利害関係者)からの要求等の取り組むべき課題を、日常的な業務に落とし込み実行していく活動がCSR活動であり、役員、管理者だけでなく一般従業員一人ひとりが「CSR」を理解し、行動することが重要です。そのため、タムラグループのCSR活動を理解する情報源として、また、教育資料として活用することを目的に「CSR情報サイト」を、社内ネットワーク上に開設しました。社内ネットワークが未開通の関係会社には、CDを配付しました。

CSR情報サイトは、初歩的なことを理解し、業務に適用したり、活用することを目的としており、一問一答のQ&A形式とし、まとまった時間が取れない場合でも、少しずつ学習できるよう配慮しました。

コンプライアンス教育

コンプライアンス経営の重要性が増していますが、その実現には経営者だけでなく、従業員一人ひとりの意識と感度を高めることが不可欠であり、その重要な手段としてコンプライアンス教育を位置づけています。

2011年度には、「ミニドラマで学ぶコンプライアンス」を導入し、コンプライアンス・ユニット毎の教育に活用しました。また、階層別の集合研修にも取り組み、社外講師による役員・幹部向けおよび管理職向け研修を計3回に亘り実施しました。



コンプライアンス教育(坂戸事業所)

ものづくり教室開催

2011年12月4日、入間市産業文化センターにおいて、「第4回ものづくり教室」を開催しました。入間市内の小学生15名が、入間事業所を中心とした当社社員およびOBによるマン・ツー・マンの指導のもと、ラジオ製作に挑戦しました。指導員として、今回初めて2名の女性が参加しました。はんだ付けに悪戦苦闘しながらも、参加した児童たちからは、「音が出て嬉しかった」「楽しかった」というような感想を聞くことができました。

今後も、未来を担う子供たちが「ものづくり」の素晴らしさを実感できる活動を推進していきます。



ラジオ製作中の小学生と指導員(OB)

伊豆沼・内沼クリーンキャンペーンに参加(若柳電子工業)

2012年3月20日、宮城県栗原市における「伊豆沼・内沼クリーンキャンペーン」に参加しました。伊豆沼・内沼はラムサール条約指定地として国際的に重要な湖沼となっており、その美しい湖沼環境を保全するため毎年「春分の日」と「秋分の日」の年2回、クリーンキャンペーンが開催されており、若柳電子工業は毎回参加しております。今年は例年よりも寒く、雪が残る中での活動となりました。当日は安全衛生委員が中心となって、クリーン作戦を展開しました。



クリーン作戦展開中

会津地域ものづくり企業展示交流会に参加(会津タムラ製作所)

2011年11月7日に開催された、「会津地域ものづくり企業展示交流会」へ初めて参加しました。本交流会の開催目的は、優れた製造技術や製品を有し、その技術力が他地域では評価されている企業が、地元地域では認知度が低く、地域内取引が活発に行われていない状況を改善することです。32社の出展企業はブースを設置し製品の展示・紹介を行いました。企業だけではなく地元の会津大学も参加し、研究内容紹介を行いました。

地域内外から、多くのものづくり関係者・団体が来場され、相互理解・交流ができました。



会津タムラ製作所ブース

タムラグループ行動規範説明会

2011年11月に、関係会社である光波本社および浜松工場において、「タムラグループ行動規範」説明会を実施しました。



行動規範説明会(光波本社)

民家の火災防止

若柳電子工業製造Gの小野寺利崇さんは、会社近隣の民家の煙突から炎が出ているのを発見しました。すぐその住人の方に連絡し、無事消火することができました。住人の方から、「薪ストーブの煙突の中にタールが溜まり引火しました。危うく火災になるところでした」との感謝の言葉をいただきました。



小野寺 利崇さん

2011年度環境活動トピックス

タムラグループ環境方針

環境理念

タムラグループミッションである「私たちは、タムラグループの成長を支えるすべての人々の幸せを育むため、世界のエレクトロニクス市場に高く評価される独自の製品・サービスをスピーディに提供していきます」にもとづき、地球環境・生物多様性の保全を推進し、全ての企業活動において環境との調和を図ります。

重点施策

タムラグループの事業である電子部品、電子化学材料、はんだ付装置、情報機器関連の設計・開発・製造・サービス活動において、環境マネジメントシステムを運用し、資源の有効活用、汚染の予防及び法規制等を順守すると共に、その継続的な改善を図り、次に示す環境保全活動を重点的に実施します。

1. 環境貢献製品を提供します。
2. 環境負荷物質を抑制し、削減します。
3. 省エネルギー、省資源を推進します。

環境マネジメントシステムの統合

タムラグループは、2006年度より、国際規格ISO14001のグローバル統合認証の環境マネジメントシステムを構築し、2010年度までに12社20サイトを統合、2011年度は、田村精工電子(常熟)、安全電具(惠州)、タムラ化学韓国の3社3サイトを新たに統合しました。

2012年度は光波(本社および浜松工場)の1社2サイトの統合を行います。

タムラグループ目標および実績と評価

タムラグループでは環境方針で重点施策に掲げた3項目を「環境貢献製品の売上比率の拡大」、「環境負荷物質の削減」、「CO₂排出量の削減」の3つの共通目標として環境保全活動に取り組んでいます。

「環境貢献製品の売上比率の拡大」については、概ね目標を達成しました。

「環境負荷物質の削減」については大幅に削減でき、目標を達成しました。

「CO₂排出量の削減」については、売上金額原単位は前年度とほぼ横ばいでしたが、総量では2010年度37,121t-CO₂から2011年度33,892t-CO₂と大幅に削減しました。

2011年度 タムラグループ目標と実績

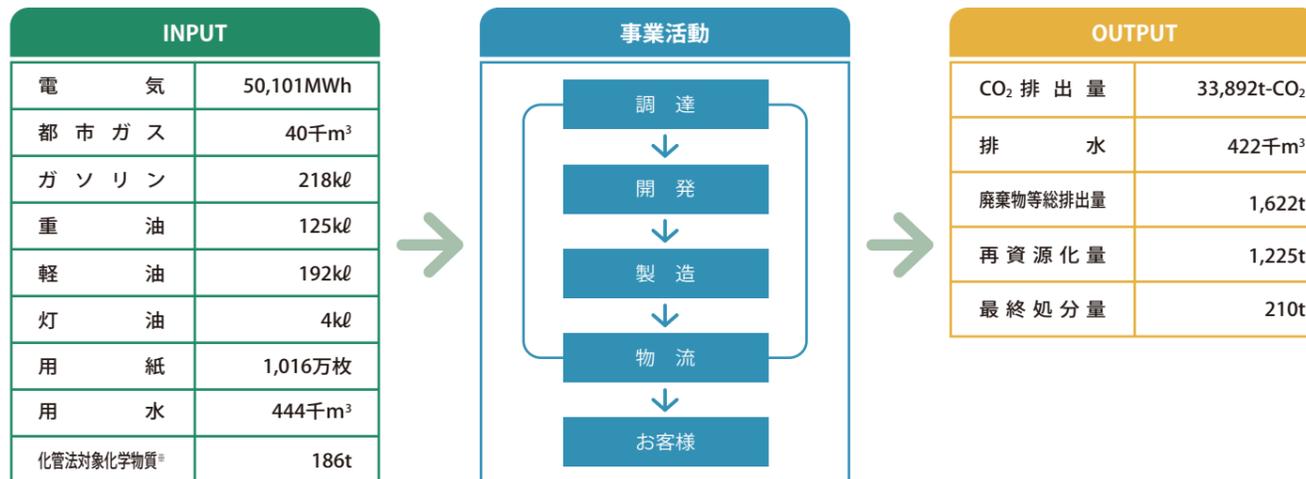
	環境目的	2011年度目標	2011年度実績	2012年度中期目標
I	環境貢献製品の売上比率の拡大	環境貢献製品の売上比率 プレミア環境貢献製品:13% (一般環境貢献製品:45%)	12% (47%)	プレミア環境貢献製品の 売上比率24%
II	環境負荷物質の削減	化管法*対象化学物質 2005年度比43%削減	52%削減	化管法*対象化学物質 2005年度比63%削減
III	CO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 排出量 前年度比原単位6%削減	0.4%増加	毎年度前年度比原単位 6%削減

*化管法:特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

タムラグループ環境負荷の概況

タムラグループは、事業活動における環境負荷を定量的に把握し、プレミア環境貢献製品の開発をはじめ、生産性の向上や物流の効率化等、事業活動のあらゆる場面で、環境負荷の低減に取り組んでいます。

2011年度 環境負荷の概況



*海外工場でも同一基準で管理しており、本数値は海外分を合算した数値です。

新たなプレミア環境貢献製品の一例

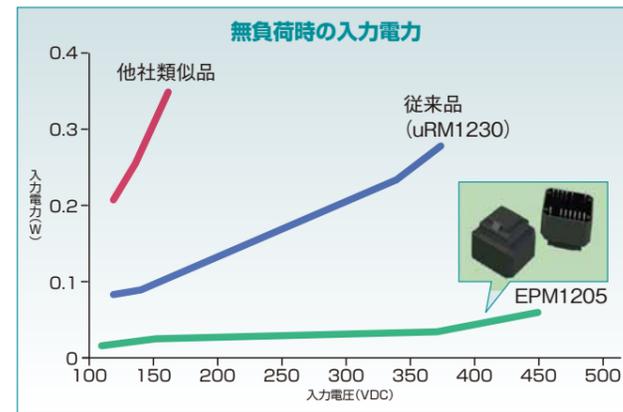
タムラグループでは、開発・設計段階で製品環境アセスメントを実施し、環境影響の最小限化に取り組むとともに、プレミア環境貢献製品の開発・提供を通じて地球環境への貢献を目指しています。

パワーモジュール(EPMシリーズ)

世界的な省エネルギー化の法律規制強化が進んでいます。また、エコ特性を付加価値とする電気製品も拡大しており、電源の省エネルギー化の要求は高まる一方です。

省エネ型パワーモジュール(EPMシリーズ)は、無負荷時の消費電力特性と、軽負荷時(製品の待機状態)の効率特性を、大幅に向上させたモジュールです。

お客様の「業界最高水準の省エネルギー化を、短期間の開発で実現したい」という要求に対応し、使用電力量の削減と開発工数の削減に貢献する製品です。

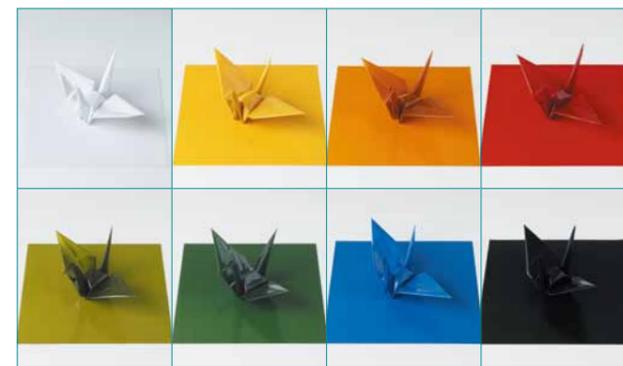


フレキシブル基板用液状ソルダーレジスト (PAF-300シリーズ)

PAF-300シリーズはハロゲンフリーの環境対応製品でありながら、VTM-0相当の難燃性を有するフレキシブル基板用液状ソルダーレジストです。

屈曲性や低そり性といった柔軟性に優れた機能を有するとともに、多色対応を可能にしています。

機能だけでなく、デザイン性を求めるお客様のニーズにお応えできる製品です。



CORPORATE DATA

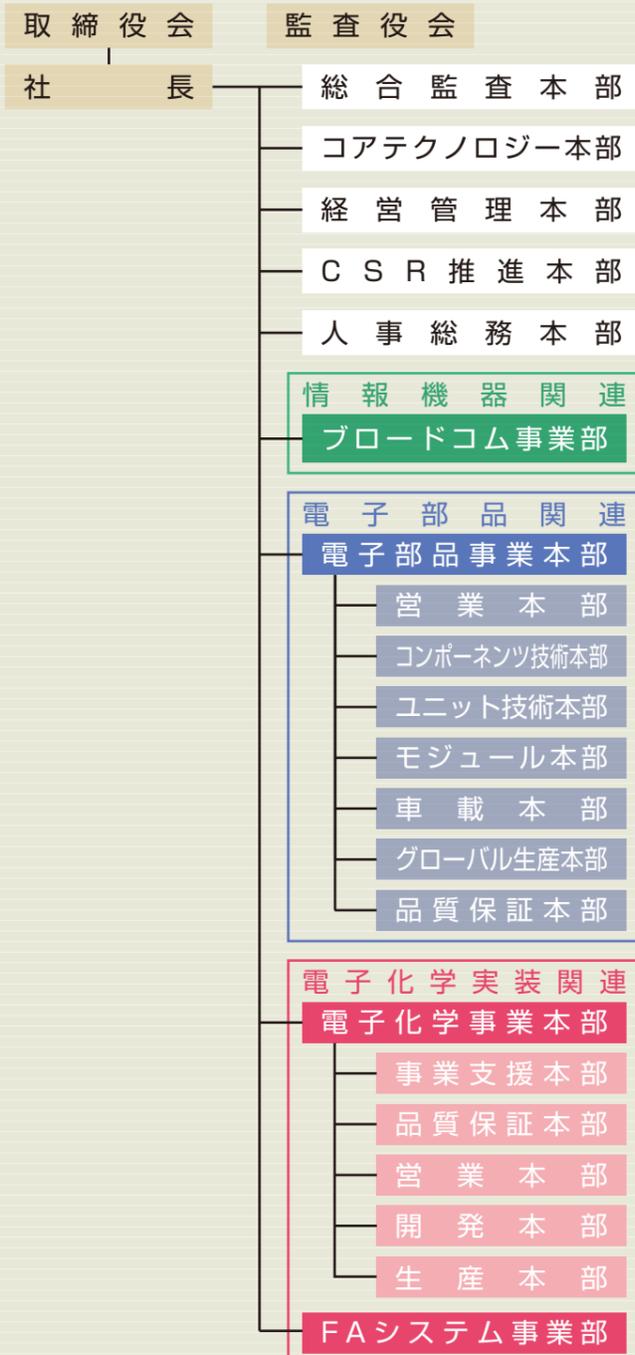
会社プロフィール

会社プロフィール

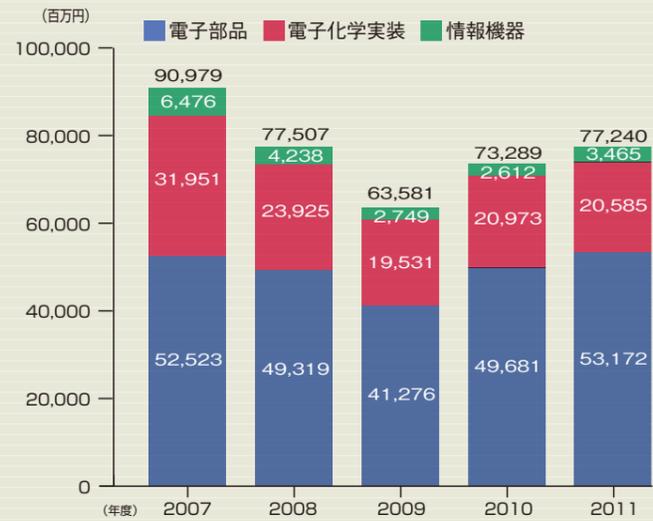
商号 株式会社タムラ製作所
 TAMURA CORPORATION
創業 1924年5月11日
設立 1939年11月21日
資本金 11,829百万円(2012年3月31日現在)
株式 (2012年3月31日現在)
 発行可能株式総数 252,000,000株
 発行済株式の総数 82,004,856株
 (自己株式766,617株を除く)
株主数 12,577名
決算期 年1回 3月31日
役員 (2012年6月28日現在)
 代表取締役社長 田村 直樹
 取締役常務執行役員 李 国華
 浅田 昌弘
 飯田 博幸
 取締役 蓑宮 武夫(社外取締役)
 取締役上席執行役員 南條 紀彦
 取締役執行役員 中島 康裕
 上席執行役員 橋口 裕作
 齋藤 彰一
 執行役員 舞木 孝一郎
 徳光 昭
 清田 達也
 末田 直一
 常勤監査役 久保 肇
 監査役 佐藤 正典(社外監査役)
 守屋 宏一(社外監査役)

会社組織図

(2012年4月1日現在)



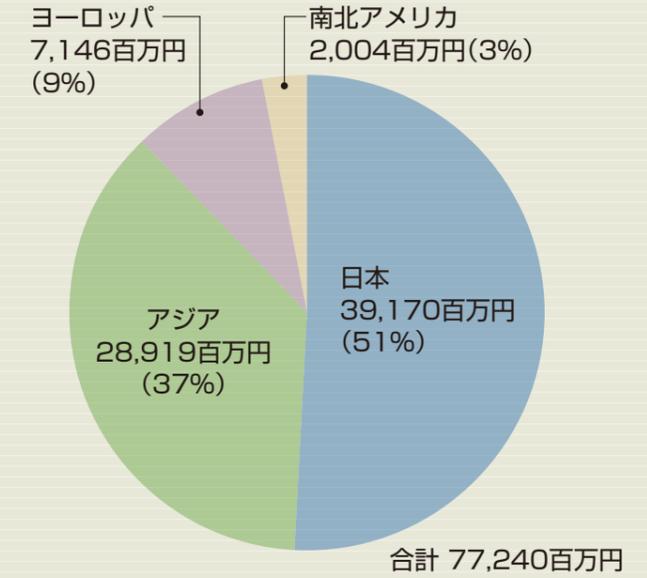
売上高 (連結)



※各事業の外部顧客に対する売上高(事業間の内部売上高を除く)を表示しています。
 ※各事業年度の連結売上高合計には、その他事業(運輸・倉庫・保険業)が含まれています。

地域別売上構成 (連結)

(2012年3月期)

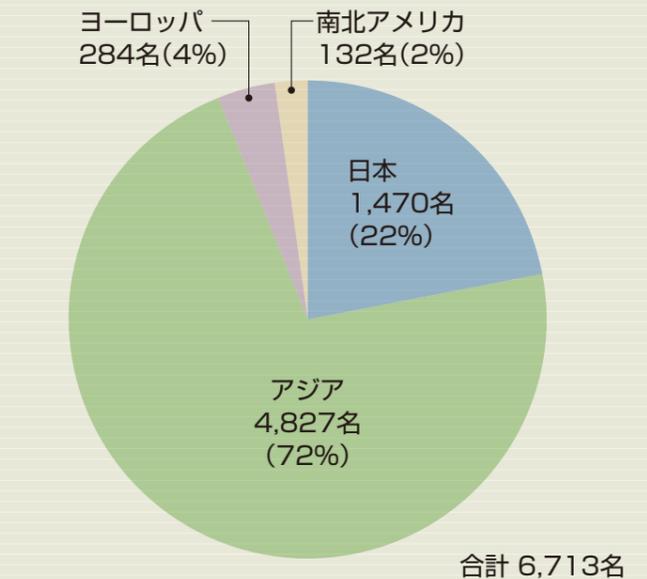


経常損益・当期純損益 (連結)



地域別従業員構成 (連結)

(2012年3月31日現在)





タムラグループは
国連グローバル・コンパクトに参加しています。

国連グローバル・コンパクト

1999年の世界経済フォーラムにおいて、当時
国連事務総長であったコフィー・アナン氏が
「民間企業のもつ創造力を結集し、弱い立場に
ある人びとの願いや未来世代の必要に応じて
いこう」と提唱した、企業の自主行動原理。

<http://www.tamura-ss.co.jp/>



タムラグループマスコット
“クーニュ Quenu”

株式会社タムラ製作所

TAMURA CORPORATION

〒178-8511 東京都練馬区東大泉1-19-43



■本レポートは、環境に配慮した印刷方式を採用しています。
用紙は適切に管理された森林からの原料を含むFSC™認証紙を、
インキは環境に配慮したベジタブルインキを使用しております。